

## 放射線科へ依頼可能な RI 検査

### ① 骨シンチグラフィ

#### ▶ 適応・特徴

全身の骨代謝を評価し、骨病変の検出および進展範囲の把握に有用な検査です。多発骨転移の検索に加え、原発性骨腫瘍や炎症性骨疾患の評価にも用いられます。

#### ▶ 検査方法

検査薬を静脈注射し、約 3 時間後に全身撮影を行います。

#### ▶ 予約枠とスケジュール

月～木曜日（各日 2 枠）

① 注射 11:00 → 撮影 14:00

② 注射 11:30 → 撮影 14:30

#### ▶ 前処置等

食事制限はありません

### ② 脳血流シンチグラフィ

#### ▶ 適応・特徴

脳血流分布を評価し、認知症および脳血管障害の診断・鑑別に有用な検査です。血流低下の分布パターンから、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などの鑑別に役立ちます。

#### ▶ 検査方法

診療目的に応じて以下の方法を選択して撮影します。

方法①：注射後 約 15 分で撮影

方法②：注射と同時に撮影

※検査方法は当院で決定します

#### ▶ 予約枠とスケジュール

月～金曜日

注射と撮影 15:30

※金曜日のみ 14:00 の実施も可能

#### ▶ 前処置等

食事制限はありません

### ③ DAT シンチグラフィ（ドパミントランスポーターシンチ）

#### ▶ 適応・特徴

黒質線条体系におけるドパミン神経終末の機能を評価し、パーキンソン症候群の鑑別に有用な検査です。本検査により、ドパミン神経変性の有無を評価できます。

- 変性あり（DAT 低下）：パーキンソン病、DLB、PSP、MSA など
- 変性なし（DAT 保たれる）：AD、ET、VP、DIP など

#### ▶ 検査方法

検査薬を静脈注射し、約 3 時間後に撮影を行います。

#### ▶ 予約枠とスケジュール

月～木曜日

注射 11:00 → 撮影 14:00

#### ▶ 前処置等

食事制限はありません。

#### ▶ 事前確認（注意事項）

検査薬にアルコールが含まれるため、アルコール過敏症の方は事前にご相談ください。

### ④ MIBG 心筋シンチグラフィ

#### ▶ 適応・特徴

心筋交感神経機能を評価し、パーキンソン症候群および認知症の鑑別に有用な検査です。末梢交感神経障害の有無を評価し、パーキンソン病・DLB と MSA・PSP などの鑑別に役立ちます。

#### ▶ 検査方法

検査薬を静脈注射し、早期像および後期像の 2 回撮影を行います。

#### ▶ 予約枠とスケジュール

月～木曜日（各日 2 枠）

① 注射 11:00 → 早期像 11:15 → 後期像 14:00

② 注射 11:30 → 早期像 11:45 → 後期像 14:30

#### ▶ 前処置等

食事制限はありません

#### ▶ 事前確認（注意事項）

レセルピン、三環系抗うつ剤、塩酸ラベタロールを投与している場合、薬剤の心臓への集積が抑制されるとの報告があります。休薬が必要な場合がありますので、事前にご相談ください。